

# きずな

2010年12月16日

NO 819

赤旗井原出張所

井原市井原町103 (TEL 62-6200)

井原市議会12月定例会で8日に日本共産党の森本ふみお議員が8項目質問しました。森本議員の質問と執行部の答弁の概要は次のとおりです。

## 森本ふみお議員の質問の概要

### ◆子どもの医療費無料制度を新年度から通院も中学校卒業までに拡大を

市長は、10月市議会で子どもの医療費の拡大について「子育て世代から強いご要望があることは充分承知している。

無料制度を、通院も中学3年まで拡大することについては、来年度当初からというご提言でございます。私としましては、来年度当初からという思いでございます。しかし、あくまで医師会の協力がなくしてはできない問題でありますので、議会が終了後、特に早い段階で医師会と協議の場を持ちたいと考えている。」とお答えになりました。

医師会と協議の結果、新年度から実施できそうですか。

### ◆住宅リフォーム補助制度の創設を

市長は、10月市議会で「私個人としても大変関心がある事例です。これまで井原市として経済波及効果は試算したことはありません。

他市での住宅リフォームの補助制度を実施している自治体は、22年3月末現在で、全国で154の自治体は何らかの形で補助している。

今後、市内における経済波及効果を試算し、本市の財政状況等を勘案しながら、今後の経済状況や、国・県の動向を踏まえて調査・研究をしていきたい。」とお答えになりました。

このことを実施することで、関係業者や住民に大きな経済波及効果を生み出すことは明らかです。調査・研究の結果、新年度から実施できそうですか。

### ◆幼・小・中・市立高校の普通教室にエアコンの設置を

今年夏の暑さは異常でした。そのような中で子どもたちは、汗を流しながら頑張ってきました。暑さに気をとられて勉強のほうがおろそかになる傾向もあったようです。

そこで、幼・小・中・市立高校の普通教室にエアコンを設置し、児童・生徒が勉強に専念できる環境づくりをしてはどうですか。

### ◆厚労省の「放課後児童クラブガイドライン」に沿って、市としてすべきことを忠実に具体化を

平成21年度以前3年間のクラブ全体での主なケガ・事故等が毎年度10件程度発生している。これに対するお考えがありますか。 **2面左上へつづく**

## 左の質問に対する執行部答弁の概要

### 平成22年4月1日から実施する

10月市議会終了後、早速医師会と協議を行い、通院についても中学校卒業まで窓口無料化にすることでご理解をいただき、大変喜んでおります。

この議会で「子ども医療費給付条例の一部改正」をお願いしており、ご議決をいただいた後、来年4月からの実施に向け、事務を進めていく予定にしている。当初予算が議決されたら、3月中には、受給者証を該当者に送付する予定。

引き続き、次代を担う子どもたちが、健やかで安心して子育てができる環境づくりを積極的に進めていきたい。

### 平成22年4月1日からの実施に向け検討中

県内では、真庭市が本年4月から、津山市が8月から助成制度を始められております。

井原市としても、経済対策の一環として、新年度からの実施に向けて、他の自治体の事例を参考に取り組み内容を検討している。

内容は、いま検討しているところですが、現在のところ、補助限度額を20万円、補助額は工事費の1/10、対象工事は50万円以上の工事に対してということを考えています。



### 耐震化に一定のめどがついた段階で検討する

一日の大半を過ごす学校での児童・生徒の健康管理と、学習に集中できる環境の整備、冷房を必要とする期間は、夏休みを含む3か月程度であります。その必要性は充分認識しています。

多額の費用がかかることを考えると、早急な対応は厳しい。今後、耐震化に一定のめどがついた段階で、各学校の要望を聴きながら、整備計画について検討していきたい。

### 指導員にケガへの対応などについて指導する

今後、各クラブの指導員には、事故防止に向けた安全対策や、万が一事故が発生した場合には速やかに適切な処置を行うよう指導していく。

**2面右上へつづく**

**1面左下からつづく**

50人以上の登録人数に対して指導員数が1人というクラブがあります。安全で安心して通わせるクラブにするためには、このようなクラブは早急に改善が必要だと思います。このクラブに重点的な援助をしてはどうですか。

厚生労働省の「放課後児童クラブガイドライン」に基づいて、統一的基準（マニュアル）の作成など、市としてやるべきことがあります。例えば、常に設備また運営の向上に努めること、クラブの運営状況を定期的または随時に確認し、必要な指導・助言を行い、質の向上が図られるようにすること、クラブ関係者等に内容を周知すること等もありますが、どう対応しておられますか。このほかにも市がしなければならないことにどう対応していますか。

**◆男性職員の育児休業の取得環境の一層の整備を**

いま、全国的に男性の育児休業が話題になり、注目されています。井原市でも、平成21年度以前5年間の取得状況は、女性は出産数と同じ程度取得されていますが、男性の取得は5年間で1件だけです。

この状況を見て、男性は非常に取得しにくい環境にあると推察されます。男性も女性と同じように、職場に気兼ねなく安心して取得できるような環境整備が大変重要だと考えます。

取得しやすいような環境整備はどんなものが考えられ、今後どのように取り組んで行かれますか。

**◆井原市ふれあいセンターへ、エレベーターか自動昇降機の設置を**

平成21年6月議会で私が、「井原市ふれあいセンターへエレベーターか自動昇降機の設置をしていただきたい」との提言をしました。

この時の佐藤教育長のご答弁では「エレベーターについて、スペースの問題、あるいは現在開催をしている講座への影響、あるいは利用状況等を勘案して検討してみたい。」とのことでした。検討の結果はどうになりましたか。

**◆美星町内に児童会館の建設を**

平成21年12月議会で私が、「美星町内に児童会館の建設を」との提言をしました。

この時の瀧本市長のご答弁は「研究・検討していきたい。」とのことでした。研究・検討の結果はどうになりましたか。

**◆安全対策として小田川に架かる薬師橋の欄干を高くしてはどうですか**

平成22年6月議会で私が「安全対策として小田川に架かる薬師橋の欄干を高くしてはどうですか」との提言をしました。

この時の瀧本市長のご答弁は「笠岡市と協議を行いながら、安全対策を実施したい。」とのことでした。笠岡市との協議の結果はどうになりましたか。

**1面右下からつづく****指導員の補充を促し、情報提供していく**

児童利用数に対して指導員が不十分なクラブには指導員の補充を促すとともに、人材確保のための情報提供も行っていきたい。

**来年早々、市独自の統一的基準を作成する**

年度当初に、13クラブから組織されている「放課後児童クラブ連絡協議会」の総会で、各クラブに対し、ガイドラインに沿った運営をお願いしている。

来年度早々には、本市の実情にあった市独自の統一的基準（ガイドライン）を作成したい。施設の整備、指導員数、安全対策の不十分な点は今後改善して行きたい。

**今後も育児休業取得環境の充実を図る**

本年6月議会で関係条例を一部改正した。制度の概要については、全職員に周知させています。

男性職員の育児休業の取得環境について、制度面での整備はしていますが、育児休業取得については男性職員女性職員を問わず、本人の意思によるものであると考えています。

子どもの健やかな成長を願う子育て期においては男女共同参画の観点からも、夫婦がお互いに協力して育児・家事等を行うことは非常に重要だ認識しており、育児休業取得環境の充実を図っていく。

**自動昇降機設置の方向で考える**

井原ふれあいセンターは、年間6～7千人と多くの皆様にご利用いただいています。

費用対効果やそれぞれのメリット・デメリットを検証し、地域から自動昇降機もしくはエレベーターの設置をとの要望書もいただいております。これらを総合的に判断した結果、平成24年度以降の早い時期に(写真の位置)自動昇降機設置の方向で考えたい。

**現段階では建設は困難**

美星地区の子どもの将来人口予測、集落が広範囲に点在している地理的要因、共働き家庭の増加による保育園入園者の増、幼稚園・小学校の登下校がスクールバスによることなど、地域の状況を勘案すると、児童の利用数は限られてくると推測しており、現段階では建設は困難です。

**来年度の早い時期に防護柵を設置する**

防護柵の設置工法を検討した結果、コンクリートの欄干の柱の上に防護柵を設置する方法で笠岡市との協議が整いました。

工事の実施については、笠岡市と同時期に工事を施行し完成させる必要があるため、来年度の早い時期に実施したい。

この「きずな」は森本ふみお議員のブログ (<http://jcp-seibu.sakura.ne.jp/morimoto/>) でも見れます

生活に役立ち勇気と確信のわくしんぶん[赤旗]をお読みください(月額日刊紙2,900円日曜版800円)